

つきたい力

知識及び技能(知る・できる)
思考力・判断力・表現力等(考える・選択する・表現する)
学びに向かう力、人間性等(チャレンジする・人とつながる)

取組みの概要・ポイント

生徒は『学習の手引き』を活用し、学習の進め方を考え、振り返りを通して学びを深めている。教員もクラウドを活用し、生徒の学びと相似形となる会議や研修に取り組み、その変化が授業へと広がった。さらに、校務DXの推進により、即時の情報共有が可能となり、業務の効率化と指導の質の向上が進んでいる。

具体的な取組みの内容「校務DXの推進・クラウド活用」

最上位目標 『自主・自律』

職員会議・校内研修の変化

会議や研修の進め方を、『学習者主体の授業』と相似形になるようにし、参加者が自ら考え、対話を通して学びを深められるように工夫

① 今更められている教育実践を職員会議を通じて共有 (20分)
② 下の「リーディングDX事業」googleスライドを見ながら話を聞く (10分)
③ 席間質疑応答をスライド下にコメント入力する (質疑のため一人1個入力する)

① (クラスコード) (クラスコード) (5分)
② (下のスプレッドシート) (3-1単元テスト第1回振り返り) の実践例を見る

③ 下のスプレッドシート「クラウド活用について」の振り返りを行う。(5分)

④ 連絡事項 (3分)

- 「Google Workspace for Education」操作講習会 5/24 (金) 16:00-17:00
ぬあて：自分の授業クラスでgoogle classroomを作る。(スライドアップ)
- リーディングDX研修 6月21日 (金) 16:00-17:00
ぬあて：クラウドを活用することで、個別最適な学びと協働的な学びの一体性につながることを共有
- リアレンジメントによるgoogle classroom (teams)を譲り渡すテスト実施



校務DXの推進 クラウド活用

授業改善 (子ども主体の学び)

生徒が**学習の見通し**をもてるように、単元の冒頭で『**学習の手引き**』を提示

【理解できたことを話す！アウトプットを意識してやっぺいこう！】

---1時間の進め方---

- CanDoリストを確認② 単元計画表に単元のゴール(何が理解できるようになるのか)進め方を記入(具体的な目標設定を行う)
- 自分のやり方で勉強を進めていく。
- 単元計画表に振り返りを記入 授業時間内に書ききれないように調節すること。
- 進めたところまでCanDoリストを更新する

※振り返りについて
1時間でどのように学習を進められたのか、1時間で目標にしていた内容で何が理解できるようになったのか、次回の学習はどのように進めていくのか、この3つを具体的に書き、自分自身の学習を振り返りましょう！

縦割り授業 (平和登校日：生徒による授業)

3年生が1・2年生に向けて授業をしている様子



異年齢集団での学び

	8・6等校 陸栗	スライド	ワークシート
1	1-1	作成済み	作成済み
2	1-2	制作中	制作中
3	1-3	制作中	制作中
4	2-1	制作中	制作中

生徒がクラウドを活用しながら作成した指導案

生徒は**学習の見通し**をもち、必要に応じて**他者の考え**や**成果物**を参照しながら学びを進める。授業では、【めあて、理解度、振り返り】を自ら記入し、学びを振り返ることで、理解を深めている。

No.	項目	達成状況	備考
1	単元計画表の作成	達成済み	
2	単元計画表の活用	達成済み	
3	単元計画表の更新	達成済み	
4	単元計画表の共有	達成済み	
5	単元計画表の活用	達成済み	

心理的安全性 (教員も生徒も『挑戦と失敗ができる学校』)
※安心して意見を出し合い、失敗を学びに変えられる環境があるからこそ、新たな実践が生まれ、挑戦が続く

取組みを通しての子どもの変容

生徒はクラウド上の情報を活用し、『**学習の手引き(学習の流れ)**』を参照しながら、**学習の進め方**や**学ぶ相手**を自ら選択できるようになった。また、自分で課題を見つけ、他者の成果物などを活用して**情報を収集・分析**し、主体的に学びを深めている。その結果、**学びを深めるプロセス**が定着し、**探究的な学び**を進める姿が見られるようになった。

布施中ポータルサイトで
本校の取組みを
公開しています。

